

# 電気工事における工具及び部材の符丁に関する調査

## Investigation of Field Term for Electrical Construction Tools and Materials

五十嵐 智彦<sup>\*1</sup> 栗秋 亮太<sup>\*1</sup>

IGARASHI Tomohiko KURIAKI Ryota

**要約** 離職者訓練、学卒者訓練の修了生の就職先の一つとして、電気設備工事業関連の企業がある。電気工事においては、非常に多品種にわたる工具や電工部材を取り扱う必要があり、新規入職者にとって一つのハードルとなっている。加えて、JIS やメーカー品名とも異なる、符丁や略語、職人ことばが多く、戸惑いを覚えるものも多い。そこで、筆者らは、可能な限り符丁を調査、収集し、一覧にまとめることによって、新規入職者の便に供する教材開発を試みている。本稿では、収集した符丁の一部をまとめたので報告する。

### 1 はじめに

職業能力開発促進センター(愛称ポリテクセンター)や職業能力開発大学校(愛称ポリテクカレッジ)の電気系学科では、電気設備に関する離職者訓練・学卒者訓練を実施している。これら職業訓練の修了生の就職先の一つとして、電気設備工事業関連の企業がある。特に、千葉職業能力開発短期大学校電気エネルギー制御科においても、施工管理職や施工技能者職(「職人」と称することも多いが、本稿では一部を除き「施工技能者」とよぶ)として就職する者が、増加している。

施工技能者として就職した場合、入職後、最初に携わる作業は、「手元(てもと)」と呼ばれる作業である。これは、熟練技能者の作業に使用する工具や部材を、その指示のもと取りに行き、熟練技能者に手渡す作業である。この作業のことを「手元を習う」という。しかし、電気工事に関する工具や電材は非常に多種にわたり、また、JIS やメーカー品名とも異なる、符丁や略語、職人ことばなどの慣用的な語句(以下、符丁という)が多く、戸惑いを感じる者も少なくない。時には、「学校を出ているくせに、そんなことも知らないのか!」と、厳しい言葉をかけられることもあるという。

筆者らは、このような状況の一助となるよう、通常電気工事現場で使用されている符丁を広く調査・収集し、一覧にまとめることによって、新規入職者や職業訓練校の指導員の便に供することを目的とした教材開発を試みている。本稿では、収集した符丁の一部をまとめたので報告する。

### 2 調査方法

符丁の収集にあたっては、筆者らの現在及び過去の勤務地である、ポリテクセンター及びポリテクカレッジにおいて、話を聞くことができた電気設備工事業の方からの直接のヒヤリングをベースとして、長期間かけて収集したものである。収集の段階で、会社ごと等のごく狭いコミュニティのみで使用されるものや、スラングのようなものは極力排除したが、一部残っている可能性がある。また、符丁の収集は、千葉県のほか、筆者のうち五十嵐の以前の勤務地であった香川県、及び栗秋の以前の勤務地であった徳島県、和歌山県で行われたものであり、地域的な偏りが生じている可能性もある旨、念のため付しておく。

### 3 符丁の一覧

表1に、符丁の工具の一覧を、表2に電材の一覧を示す。ここで、一般通称とは、JIS や電気工事士試験で使用される用語等、職業訓練で一般的に使用される名称とした。

\*1 電気エネルギー制御科  
Department of Electrical and Energy Control

表1 電気工事に関する工具の符丁の一覧

一般通称	符丁	由来等
ウォータポンププライヤ	①アンギラ ②からす口、又は、からす ③やっこ	①(株)ロブテックスの商品名からという説と、先端の形状が怪獣アンギラスの口の形に似ていることに由来する説がある。 ③一説に、溶接で使用するやっこと形が似ているため。
VVF用ケーブルストリッパ	VA線ストリッパ	VAはVVFケーブルの別称。
ケーブルストリッパ	ガチャガチャ	VVFケーブルのシースをはぎ取る際に、「ガチャガチャ」と音が鳴ることからの擬音から。
高速切断機	①高速カッター ②ジャン	
パイプベンダ	①ヒッキー ②ハイヒッキー	ともに、Panasonic社の商品名から。一説に「引き伸ばしながら曲げる」から。
ロールベンダ	①一発ベンダ ②アールベンダ	
ハンマードリル	ヒルティ	ヒルティ社の社名から。
呼び線挿入器	①スチール ②よびせん	①かつては鋼製であったことから。
張線器	シメラー	
ディスクグラインダ	①アングルグラインダ ②サンダー	

表2 電気工事に関する部材の符丁の一覧

一般通称	符丁	由来等
避雷設備用導線	鬼より線	
VVFケーブル (600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形)	①VA ②Fケーブル	①旧規格の名称で、ビニル外装(VINYLLARMORING)の頭文字から。主として、西日本での言い方のようなものである。 ②主として、東日本での言い方のようなものである。
VVRケーブル (600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル丸形)	①SV ②Sケーブル	①旧規格の名称から。
EEFケーブル (600V ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル平形)	エコケーブル	焼却時に有害なガスの発生が少ないことから。
厚鋼電線管	①G管 ②GP管 ③あつこう	②公共工事標準仕様書など国交省の呼び方

薄鋼電線管	①C 管 ②CP 管	②公共工事標準仕様書など
ねじなし電線管	①E 管 ②EP 管	②公共工事標準仕様書など
1 種金属製可とう電線管	①フレキシブルコンジット ②F1 ③メタルモールジング	※1999 年に JIS の規定は廃止されたが、電気用品安全法では、現在も 1 種・2 種の区別がある。
2 種金属製可とう電線管	①プリカチューブ ②F2 ③金属製可とう電線管 ④ハイフレックススルー	③JIS 名称。 ④Panasonic 社における商品名から。
波付硬質合成樹脂管	①エフレックス ②FEP ③波付硬質ポリエチレン管	
第 1 種金属せんぴ	①メタルモール ②メタモール	
第 2 種金属せんぴ	レースウェイ	
合成樹脂せんぴ	プラモール	※2011 年に電技解釈(156 条)から削除され、低圧屋内配線工事では合成樹脂線ぴ工事ができなくなった。なお、JIS には規定が残っている。
差込形コネクタ	ワゴ	ワゴジャパン社の社名から。
ボルトコネクタ	ボルコン	
ねじりスリーブ	S 形スリーブ	断面形状から。
塗りしろカバー	小判	開口部の形状から。
ユニバーサル	①ユニバーサルエルボ ②ふたつきエルボ	
パイプ取付金具 (管固定)	パイラック	ネグロス電工の商品名から。
パイプ取付金具 (C チャン固定)	ダクタークリップ	
パイプ取付金具支持具	①C チャン ②ダクチャン	②ダクターチャンネルを略したもの。ネグロス電工の商品名から。
全ねじボルト	①寸切 (ずんぎり) ②吊りボルト	①「寸切り」とは、輪切りという意味があり、任意の場所で寸切ることができることから。
接地金具	ラジアスクランプ	
確認表示灯内蔵スイッチ	①ひかるスイッチ ②パイロットスイッチ ③オンピカ	①電圧形。Panasonic の商品名。 ②電流形。Panasonic の商品名。 ③東芝の商品名。
位置表示灯内蔵スイッチ	①ほたるスイッチ ②オフピカ	①Panasonic の商品名。 ②東芝の商品名。
遅延スイッチ	ディレイスイッチ	
確認表示灯	パイロットランプ	
フロアコンセント	①アップコンセント ②アプコン	

埋込接地極付コンセント	せちこん	
電磁接触器	① マグネット ② 52 (ゴーニー)	②制御器具番号から。
熱動継電器	① サーマル、サーマルリレー ② 49 (ヨンキュー)	②制御器具番号から。
制御用リレー	① ミニチュアリレー ② 88 (ハチハチ)	②制御器具番号から。
箱開閉器	① カクエス ② 手元開閉器 ③ ハイプロ (外箱が樹脂製で接地不要のもの) ④ 配電函 (はいでんばこ: 外箱が金属製で接地が必要なもの)	①図記号 <b>S</b> から。

#### 4 符丁の分類

上記表にまとめたとおり、実際の工事現場では、標準的な名称以上に、施工技能者同士で通じる符丁が非常に多く存在する。これらの符丁の語源には由来が不明なものも多いが、明らかになっているものには次に示すようないくつかのパターンがあるようである。

##### ① 標準名称の略称

「ボルトコネクタ」を「ボルコン」と呼ぶなど、単純に略して呼称したもの。

##### ② 規格や法令における記号や番号

「箱開閉器」を「カクエス (図記号)」と呼んだり、「電磁接触器」を「52 (シーケンス番号)」と呼称したりするなど、規格や法令における図記号や番号がそのまま通称として使用されたもの。

##### ③ 特定の企業の名称や商品名

「差し込みコネクタ」を「ワゴ」と呼ぶなど、当該工具や電材を製造するメーカー名や商品名が、そのまま通称となったもの。この場合、多くは他社製品であっても同一の通称が使用されることが多い。

##### ④ 構造や外見、操作の方法など

「呼び線挿入器」を「スチール」と呼ぶなど、構造によるもの。「ウォータポンププライヤ」を「アンギラ」と呼ぶなど、外見によるもの。「一発ベンダ」(ノーマルベンダと異なり、一回の曲げ操作で直角の曲げを作ることができる工具) など、操作の方法によるものなど、施工技能者同士のやり取りから発生したと思われる名称。呼び線挿入器は、かつては鋼製が多かったため、「スチール」と呼ばれたと考えられるが、現在は鋼製のものはほとんど存在せず、新規入職者には特に分かりにくい通称である。

#### 5 まとめ

上記表にまとめたとおり、多岐にわたる電気設備工事の現場における符丁を収集できた。また、符丁の由来としては、標準名称の略称、規格・法令の記号、特定の企業・名称、外見や操作法など、概ね4パターンに整理できることが分かった。本稿に挙げた電気設備工事における符丁の一覧については、先行研究や参考文献があまり存在せず、技術的、文化的に貴重な資料であると思われる。

しかし、由来が不明なものや、明確になっていないものも多く、更なるヒヤリング調査や文献調査を継続していく。また、種類に関しても網羅できているとはいえない状況であり、更なる収集が必要である。更に、例えば、「F ケーブル」と「VA」など、同じ工具・電材でも地域、業界、所管省庁によって呼び方が異なるものもあり、これらについても更なる整理を要する。今後は、写真付きのテキストの作成し、訓練生の便宜を図ることができるようにしていく。これらの情報を有する読者諸賢には、本稿に対する忌憚ないご意見を賜るとともに、筆者あて情報提供をいただくと幸いです。

#### 参考文献

- 1) 富士電線工業カタログ、令和3年6月12日閲覧、  
<https://www.fujiewc.co.jp/wp-content/uploads/2021/04/hb002.pdf>